



トヨタネ瓦版

「還暦」を迎える

川西裕康

いきなり個人的なことですが、今年十一月六十歳、還暦を迎えます。誰しも思うのだろうが、子供の頃六十歳はお爺さん？か老けたおじさん位の感覚だった。

必要情報と、会話を手に入れることができる。次に変わったのが物流革命、まだ宅配便という概念がなかった。小型便は駅留めだった。今や宅配がネット通販と連動して実店舗を上回る勢いです。次に大きいことは禁煙革命？入社当時、社内禁煙という概念はなかった。各机には灰皿、一日机の上で吸い続

一九八〇年入社時、固定TELのみだった。FAXすらない。今では



ける方もいた。バスでも飛行機でも電車でもタバコが吸えた。タバコを吸わない女性社員から猛烈な抗議を受けたことをよく覚えている。しかもその灰皿を片付けるのも、男女トイレを掃除するのも女性社員の仕事だった。まだまだ問題はありますが、会社における女性の地位向上もこの四十年間の大きな出来事です。



今後はどうか、AIの進捗とエネルギー革命の進展、そしてゲノム編集技術が重要なキーワードと確信しています。一方で国内のみで言えば、少子高齢化、人口減少社会にお

発行11月11日
トヨタ株式会社
社内報 第13号
総務部経営9企画課
編集・構成：朝倉芳則
本社：豊橋市向草間町
字北新12-1/〒441-8517
TEL(0532-45-4137(代))
HP <http://www.toyotan.co.jp>
Email: info@toyotane.co.jp



社長より内定証書をお渡しし、多くの企業から当社を選んで頂いたお礼と当社の歴史などのお話を聞いて頂きました。内定者



者同士の和もより深まったと感じます。下期勉強会では皆様に自己紹介をします。温かく迎えてください。よろしくお願

二〇一八年採用「内定式」について

山川英明

十月七日(土)に二〇一八年春に入社予定の内定者十三名が集まり、内定式を行いました。川西社長よりお話をし、内定者は良い緊張感でしっかりと聞くことができました。内定式後は、社長と懇親会を行いました。みなさん緊張した様子で頑張っ

致します。以下は、内定者の内定メールです。
【抜粋】「川西社長と面接以降初めてお話ししました。面接時と懇親会の素に近い姿では私に対するイメージが少し違ったかもしれません。会社として大切にしている新卒採用で、この人を選んでよかったです。表面と内側とも磨いていきたいと思っています。」



今年度はJCVにポリオワクチン九人分を寄付しております。



野菜中心の生活を送るスタイルのことを指している、アメリカを中心にした言葉が浸透しています。

最近の注目トレンドとして、「ベジセントリック」というキーワードが目にする機会が増えてきました。聞きなれない言葉ですが、野菜の「Vegetable (ベジ)」と、「中心」を意味する「Central (セントリック)」を合わせた「野菜中心」という意味の造語だそうです。肉、魚は摂りつつも

飾りじゃないのよ、サラダはHEALTHY「ベジセントリック」時代

内藤寛文

このままでは肉や魚料理が主役だったレストランでも、今ではさまざまな方法で調理され、盛り付けも華やかな野菜料理がメニューの多くを占めるようになってきた。野菜の存在感が増すばかりです。生で、熱を加えて、発酵させて、ソースにして、粉末にして...と無限に広がる野菜の可能性に、あらためて注目が集まっています。昨今、野菜たっぷりのチョップドサラダやパワーサラダなどが注目されてきましたが、それだけ健康維持や美容、ダイエットなど様々な目的で栄養たっぷりの野菜を求める声が多い証拠だと考えられます。



の元気あふれる写真、裏表紙のモデルを着たモデルさんです。是非モデルさんです。是非モデルさんです。

二〇一八年春夏の『豊かさ実るタネを。』が出来上がりました。坂上和孝

ロン、西瓜等、お客様に紹介させて頂いております。今回の見所は「ベジ」の農場、生産部の皆さん

ベルワイルドウェアをお客様にご紹介。又、苗メーカーの特長ある苗商品も充実させました。春の商戦には是非お役立てください。



野菜中心といってもストイックすぎず、「肉も魚も食べるけど、野菜がおいしいからたくさん食べたい！」という人たちに、あくまでもおいしさを選

ベジセントリックで何よりも大切なのは、野菜中心の食事スタイルを「楽しむ」こと。おいしくて、見た目も楽しい料理で、心も体もキレイを目指し、「ベジセントリック」な食事を楽しんでみてください。



霜月

林 總喜

旧暦11月を霜月(しもつき)と呼び、現在では新暦11月の別名としても用いる。「霜月」は文字通り霜が降る月の意味である。他に、「食物月(おしものつき)」の略であるとする説や、「調ウイキペディアより

霜月(しばむつき)「末つき(すえつき)」が訛ったものとする説もある。また、「神楽月(かぐらつき)」、「子月(ねづき)」の別名もある。

10月25日から28日まで韓国に出張してきました。私にとって2度目の韓国出張になります。十数年前に韓国を訪問した時は、日本の農業を参考にしている施設園芸をやっているような印象でしたが、最近の韓国の農業はオランダ式の施設園芸を積極的に取り入れてすごいと聞いてはいましたが実際に訪問して、技術や情報は世界中にあつとやうに伝わること、人材育成が農業にとって重要であることを実感しました。具体的には、韓国では国が積極的にオランダなどから技術コンサルタントを招いて技術指導や研修を受け、オランダに人材を派遣して技術を習得することで人材育成していました。オランダ式の大規模農園をそのまま導入し、それに対応できる人材育成をして農業を輸出をとっています。トヨタネ研修農場でやっている農業研修は規模が違いますが、やりがいのある仕事であることは間違いなくと確信しました。

釜山市の朝市で食べたチジミが美味でした。



低賃金の上昇によるコストアップと過剰生産による価格低下だそう。韓国と言えどキムチに代表される劇辛のトウガラシ文化。赤いトウガラシより青いトウガラシの方が辛く、ややこしいことに辛いシシトウのようなものもあること。初日は辛さで汗が滝のように出ましたが、2日、3日たつと辛さに慣れて、辛い食事が美味しく感じられるようになります。しかし、4日目のコリアンエアラインで出された機内食に、青トウガラシの漬物、油断して丸ごと食べ劇辛!!!、咳と涙と汗が出ました。

